

もくじ



今月の表紙  
『COSAZI coffee(店舗名:pokke)』

事業所データ

◆代表者

代表 榎尾 剛志

◆所在地

加古郡稲美町国岡30-5

◆Instagram



◆表紙写真

- ①晴天の下、店舗入口で迎える代表の榎尾さん。
- ②一杯一杯、心を込めて丁寧にドリッブしています。
- ③④コーヒーとスイーツのマリアージュをお楽しみください。
- ⑤⑥客席の近くに置かれた焙煎機が、店内に香ばしい香りを届けてくれます。
- ⑦テイクアウトで美味しいコーヒーとスイーツをご自宅でも味わえます！
- ⑧店内は受け継いだレストランの温もりを残しながら、カフェとして新たな空間に。

2 特集 春風に誘われて、歴史浪漫を歩く  
- 志方「中世・戦国時代浪漫コース」

7 クローズアップ 「初心に立ち返り、組織と仲間を繋ぐ一年へ」  
加古川商工会議所青年部  
会長 山本 裕一 さん

9 エッセイ 「覚悟」  
加古川行政書士事務所  
代表 細松 陽介 さん

11 会議所のうごき 新規会員のご紹介 他

13 団体だより 女性会・青年部・加古川市環境保全研究会・異業種交流会

15 会議所からのお知らせ 印刷物入札 他

16 会議所カレンダー 「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



昨年の7月末にオープンした「pokke(ポッケ)」は、焙煎士である榎尾さんと、パティシエの奥様が営む、あたたかく居心地のよいカフェです。店名のpokke(ポッケ)には、ポケットにちよつとしたものを入れるような気軽さで「ちよつとお茶しようか」、「ちよつとお土産を買って帰ろうか」とふらつと立ち寄れる存在を目指して、日々お店づくりをされています。

榎尾さんがコーヒーの世界に惹かれたのは、意外にも前職の休憩時間に飲んでいた缶コーヒーがきっかけだったそうです。「焙煎」という言葉がふと気になり、動画を見ながら独学で焙煎を始め、試行錯誤していくなかで奥深さに魅了されていきました。

以前は小さな焙煎所で豆の販売を中心に営業されていましたが、現在の店舗へ移転し、カフェを併設することになった背景には、大切な縁がありました。奥様との出会い、そして義理のお父様が25年間営んでこられたレストランを閉めるというお話を受け「自分たちの強みを活かした形で引き継ごう」と決意されました。

新店舗では席数が増え、ゆつくり過ごせる空間が生まれました。焙煎所時代はお客様との距離がとて近く、1対1で向き合う接客が中心でしたが、お客様との距離は少し広がったものの、その分多くの方を迎えられるようになり、スイーツとコーヒーのペアリングをその場で楽しんでいただけるようになったことが大きな変化だと話します。

コーヒーは、選ぶ楽しさを感じてもらえるようにと11種類を用意されています。好みや合わせるスイーツによって選び方はさまざま。おまかせもできますが、質問すれば榎尾さんが丁寧に答えてくれます。中でも人気なのは「エルサルバドル」。ほどよい苦味と甘い香りが特徴で「飲みやすい」、「美味しい」と感じていただける一杯として、多くのお客様に愛されています。ケーキや焼き菓子などのスイーツも攻めた味ではなく、ますますで素直な味わいを大切に作られています。1番人気のとろり濃厚なバスクチーズケーキには軽やかな「コスタリカ」を合わせるなど、コーヒーとのペアリングも是非お楽しみください。

今後は、焙煎豆を軸にギフトや冠婚葬祭、広告宣伝などコーヒーの可能性をさまざまな形で広げていきたいと考えておられます。手広くではなく、自分が焙煎した豆から出来る価値を大切に、新しい挑戦を続けていきたいと話していただきました。

コーヒー屋さんは寡黙というイメージを持つ方も多いかもしれませんが、榎尾さん夫婦からはあたたかな雰囲気を感じました。初めて訪れる方にも、きつと気軽に扉を開けていただけるでしょう。